



発行所 国鉄労働組合
盛岡地方本部
発行 齋藤 庄司
編集 沢田 光広
TEL 019-622-5021
メールアドレス
numori@poem.ocn.ne.jp

2012.6.10
第1446号

拡大キャッチコピー
「新しい仲間づくりを
皆の力で」
「一緒に解消しませんか、
あなたの疑問。
加入ってます」

無料法律相談
担当 菅原 瞳 弁護士
(盛岡市)
〈問い合わせは地方本部へ〉

当面の主な日程
▽6月20日(東京)
交連共済第99回通常総代会
▽6月21日(東京)
本部財政関係会議
▽6月23日(東京)
東日本本部地方組織部長会議

▽6月26日(盛岡)
第9回地方本部執行委員会
▽7月6〜7日(遠野)
食とみどり・水を守る労働
会議「黙ってられない東
北集会」
▽7月7日(盛岡)
盛岡支部組織拡大対策会議

▽7月7日(さいたま)
東日本本部「組織拡大10
0名達成記念レセプション」
▽7月8日(盛岡)
第20回盛岡貨物協議会定期
委員会
▽7月16日(東京)
脱原発10万人全国集会

ていこう
被災地には多くの
ボランティアが訪
れている。炊き出
しや支援物資の搬
送、瓦礫等の撤去、
畑の整地、養殖い
かだ作りなどその
活動は多岐に及ぶ。政府の復
旧・復興スピードが停滞する
中で、彼らの取り組みは被災
者を励まし、希望と勇気を与
え、前に進む力をつくり出し
ている。▲先日、献血ルームで
現役最高献血回数700回
を超えていることに驚いた。
反面、近年は若年層の献血者
は大幅に減り、1985年度
と2008年を比較した場合
10歳代(16歳以上)は5分の
1に、20歳代は半分以下にな
ったそうだ。そのため、人通
りの多い繁華街や職場・学校
などの移動採血車の出動を
増やし、採血車や献血ルーム
周辺での呼び込みなどを強化
して血液を確保しているのだ
という。▲私をはじめ献血し
たのは高校の時である。学校
に移動採血車が来て、クラス
メイトや多くの生徒が協力し
た。私の場合、授業を公に抜
け出すことが許されたことか
ら献血したとの記憶であるが、
動機はともあれ、その後も献
血ルームなどに行った回数は
90回を超えた。確かに当時は
高校生が圧倒的に多かったが
このころ30歳・40歳・50歳
代の姿も多い。▲ボランティア
とは、自主的に社会事業など
に参加し無償で奉仕活動する
ことである。輸血や血液製剤
を必要とする人のために血液
を無料で提供するのと同様だ。
震災後、「絆」という言葉を
耳にするが、あらためてすべ
ての年代の人々の心に刻み
たい言葉である。人間を救うこ
とができるのは人間である。
人間と共存できない「核」を
人間がつくってはならない
(力)

国労に入れるという能動的な運動を

＝全体で93人・盛岡からは5人が参加し交流＝

6月3・4日の2日間、神奈川県箱根湯本で「第6回組織拡大東大ブロック経験交流会」が開催され、北海道本部・東日本本部から93人が結集した。地方本部からは、佐藤都久雄盛岡支部書記長、松島義文盛岡駅連合分会執行副委員長、佐々木政志青森支部書記長、小原典昭青森駅連合分会書記長、菊池要悦地方本部執行委員の5人が参加した。本部からの「職場が基礎」との国労運動の歴史に学び、分会機関の育成・強化を」との問題提起と、西ブロック派遣団及び東ブロック重点職場からの報告を受けて、8分散会にて討論。翌日の分散会報告では職場運動の重要性・分会活動の活性化の必要性が多く言われ、「今日までの変化を全体で共有し、国労に入るのではなく、国労に入れるという能動的な運動を作り出そう」とのまとめを全体で確認し集会を終了した。

青年部発言は元気でパワフル

盛岡駅連合分会 松島 義文

参加者名簿を見て北は北海道、釧路・旭川・南は九州、博多・佐賀とさすが全国単一組織の国労だと久々に思い、平成採用の20・30代参加者も十数人と盛岡とは違うなど感激しました。本部からの歴史に学ぼうなど問題提起を受け分散会へ。私は第8分散会で



多くの意見が出され拡大の取り組みを確認

いと言う特効薬は無いこと、一人の思いもそれぞれで本人は組合に不満を持っているけど、こちらからの声掛けを待っている人」、「レクレションなどで交流を重ね、お互いの信頼関係を築きながらも、ちよつと強引にでも誘いを待っている人」など。また青年部の方の発言は元気があり、パワフルでした。「JRには組合をするために入ったのではなく、好きな仕事をするために入社したのだ。学校では仕事、就職活動の勉強はするけど、組合や労働者の権利などは教えてもらえない。また、最初は人数の多い組合に流れ入るけど、仕事も慣れて職場が見えてくると、どちらがまともな労働組合か分かって来ますよ」など労働組合として当たり前の安全で働きやすい職場、みんなが安心して働ける職場作りをすることが大切、この会場の参加者の熱い発言を分会組合員に伝えなければと感じました。

拡大に意識を皆で高めよう

青森駅連合分会 小原 典昭

第6回組織拡大東大ブロック経験交流会が、6月3〜4日に箱根湯本温泉箱根路「開雲」で行われ、盛岡地本からは地本菊池組織部長含め5人、全体では北海道から九州まで93人の参加でした。14時から福田 護弁護士の「有期労働規制の課題と政府法案の問題点について」の講演があり、その後の全体交流会では西ブロック派遣団及び東ブロック重点職場からの組織強化・拡大の取り組みの報告、16時20分から分散交流会が18時50分まで、19時から全体懇親会が初日の日程が終了しました。

2日目は8時30分から分散会報告、重点職場からの報告、東ブロック決意と感想、集約などを行ない11時15分の閉会となりました。

岩泉・山田・大船渡線の現状で意見交換

「岩手県鉄道交通対策会議」(5・21)

岩手県鉄道交通対策会議が5月21日に盛岡国労会館会議室で11人の参加の中で開催された。

会議では、岩泉線・山田線・大船渡線の現状について、宮古市議会の竹花邦彦議員からの現状報告と久保孝喜、木

村幸弘両県議から岩手県の動きなどの報告を受け意見交換と意思統一をはかった。

今後の取り組みとしては、国道340号線の押角峠などの視察、被災地の鉄道の復旧に向け各方面からの情報収集をはかり取り組みを進めてい

くこととした。
同会議の体制は次の通り。

- 議長 小西 和子
副議長 鈴木 忠幸
(岩手県議会議員)
(二戸市議会議員)
久保 孝喜

第17回地本ゴルフ大会

鈴木善文さんが優勝 (盛岡駅連合分会)

○晴天の中84人がプレー○

17回目の地方本部ゴルフ大会が6月5日安比高原ゴルフクラブで開催された。大会には組合員・来賓を含め84人が参加しダブルペリア方式で順位を決定するとともに交流を深めた。優勝は盛岡駅連合分会の鈴木善文さんで2度目と



優勝の感想を述べる鈴木さん

当日は晴天に恵まれ8時過ぎから開会式を簡単に、岩手山・八幡平・竜ヶ森・十和の4コースに分かれ8時30分から順次スタート。昼食後、後半のコースを廻り14時30分過ぎには全員のプレーが終了。引き続き表彰・閉会式に入り、齋藤委員長の挨拶に移り用意された景品が組合員・来賓の方々に手渡された。

大会には、岩手県労働者福祉協議会、東北労働金庫、全労済岩手県本部、連合岩手、国労仙台北自動車支部、ハピネス共済会、(有 きょうさい)ライフ、ばんから屋など多くの団体や個人の皆さんからの参加や景品の提供を受けた。第6位までの成績は次の通り。

- 優勝 鈴木 善文 (盛岡駅連合分会)
- 準優勝 武田 保 (盛岡駅連合分会)
- 第3位 高瀬 貴弘 (青森駅連合分会)
- 第4位 深田 剛人 (一戸地域分会)
- 第5位 館川 幸也 (盛岡貨物分会)
- 第6位 咲山 恵司 (盛岡駅連合分会)

第13回東日本本部 軟式野球大会

地本チーム 残念な準優勝

決勝は雷雨中止で抽選負け

第13回国労東日本本部軟式野球大会が、5月17日(木)・18日(金)の両日にわたり、東京都品川区の「大井ふ頭海浜公園野球場」で、



＝仙台チーム(左)と対戦、挨拶し試合へ(右が盛岡チーム)＝

参加選手名簿

氏名	職名	分会名
監督 浅井 敏治	八戸新幹線保技セ	八戸工務
主将 笹山 賢庸	八戸新幹線保技セ	八戸工務
選手 吉田 等	東北ロジ・盛岡	盛岡貨物
選手 梅沢 昇	東北ロジ・盛岡	盛岡貨物
選手 久保田 勝雄	盛岡総合鉄道セ	盛岡貨物
選手 立花 一徳	盛岡土木技術セ	盛岡施設
選手 工藤 賢二	盛岡土木技術セ	盛岡施設
選手 八嶋 昌二	青森運輸区	青森運輸
選手 逢坂 喜美雄	出向/青い森鉄道	青森施設
選手 小笠原 幸男	八戸運輸区	八戸運輸
選手 澤頭 俊幸	八戸運輸区	八戸運輸
選手 伊東 肇	八戸新幹線保技セ	八戸工務
選手 菊池 辰夫	一関保線技術セ	一関工務
選手 佐藤 仁	一関保線技術セ	一関工務
選手 鈴木 不二人	盛岡保技セ・宮古派	宮古地域
引率者 沢田 光広	仙建工業・八戸	地方本部

10チーム(東京地本2チームとその他の各地本1チーム)の参加で開催された。

盛岡地本からは、監督の浅井敏治さん・主将の笹山賢庸

さん(両氏とも八戸工務分会)をはじめ15人でチームを結成して参加してきた。

初日、予選1回戦の対戦相手は仙台チームで、東北勢同

士との対戦となった。十分なウォーミングアップを取れないまま先攻となった盛岡だったが、

相手チームの投手も同じ状態のようだった。1球が定まらず、

平均年齢53・8歳というチームだったが、怪我也無く日程を終えることができた。本

日に野球が大好きな人たちが集まった楽しいチームだった

2日目、予選2回戦の対戦相手は水戸チーム。9時から始まる試合にむけてウォーミ

ング・アップを開始し相手チームの到着を待ったが、水戸

遅れ試合は30分遅れの開始となった。盛岡は初回に3点を

失ったが、その裏に相手を攻め立て10点獲得し、その後は

相手チームに得点を許さず点数を追加し14-3で快勝した。

予選の結果、盛岡チームはグループ1位で決勝進出を

勝利した。

決勝は、完璧なピッチングと好守で4回まで得点を与えず、最終回にお互いが1点ずつとなりあい、初戦は6-1で

決めた。長野チームと対戦することになった。盛岡チームの先発は、

チーム最年長62歳の梅沢投手(盛岡貨物分会)で、投手

戦の緊迫した試合が続いたが、0-0でむかえた4回表に突

然の雷雨とたたきつける様な激しい雨に見舞われノーゲーム。抽選の結果、4-5で残念ながら準優勝に留まった。

また、決勝戦の投球を評価された梅沢投手は敢闘賞を受賞した。

50人の参加でソフト大会

昼はトン汁 盛岡地区協



見事なバッティング? (ボールは下を行く)

6月2日盛岡地区協は、組合員と家族50人の参加によりソフトボール大会を開催しました。熊谷常任委員長から「怪我には十分注意しながら楽しく交流しながら団結を深め、組織強化・拡大に努めよう」と挨拶の後、準備運動で体をほぐしプレイボール

となりました。試合はAチーム(駅連・貨物、Bチーム(施設・運転、Cチーム(運輸区・電気)の3チームによる総当たり戦で行われ、各チームが熱戦を繰り広げるなか数々の好プレー・珍プレーが飛び出すなど大いに盛り上がり、結果はCチームが2勝0敗で優勝しました。

また昼食には近藤副委員長による恒例のトン汁がふるまわれ、弁当を片手に全員が楽しく交流しました。天気にも恵まれ心配していた怪我もなく、組合員・家族の団結と運動不足の解消にも大いに役立ったと思います。

地区協書記長 中村良宏

岩手県交通運輸産業労働組合協議会は、昨年の3・11東日本大震災復興に向けた現状・課題を学習する目的で「大震災復興・総合交通政策研究会」を、5月26日盛岡市・岩手労働福祉会館で各産別・単組組合員44人(国労5人)が参加し開催した。

主催者を代表し柴谷正孝議長(運輸労連)は「被災線区の復興に向け、住民の求める公共交通確保を求めて、県交運協が取り組む『東日本大震災により被災したJR各線の早期復旧を求める署名』は、東北交運協でも取り組みをお願いした。各組織の最大限の取り組みをお願いする。7人の尊い生命が犠牲となった「関越道ツアーバス事故」は、この間訴えてきた

JR各線の早期復旧を求める署名 交通基本法の早期実現に奮闘する

5・26岩手県交運協集会

その後、畑浩二衆議院議員(民主党)が、東日本大震災復興の現状について、「鉄道復旧に向けては、黒字のJRに国が財政を支援することはできないが、どのような支援ができるか検討中である。関越道ツアーバス事故は、小泉改革の規制緩和に問題がある。ツアーを企画する旅行会社の責任の所在を明確にする法改正に取り組む。交通基本法成立にむけしっかりと取り組む。被災地の復興は進んでいないと見られているが、水面下では復興に向けた財政が確保されて進んでいる」と、被災地の復旧・復興に向け尽力する講演をした。最後に柴谷議長「制度政策要求実現、交通基本法早期成立」に向け団結カンパニーで終えた。

「規制緩和」がもたらした。社会的規制・安全に対する緩和はあり得ない。引き続き制度政策要求として取り組む。政局の混迷で交通基本法が成立していない。早期実現に向け奮闘する」と取り組む課題を述べ挨拶とした。

5月20日盛岡国労会館で地本家族会拡大役員会(8人)を両支部家族会にも参加していただき開催しました。

家族会活動は例年参加者が同じ顔ぶれであることや、同時期に地本と支部の総会が開催されるため声をかける役員も参加する側にとっても負担が大きく、「総会のあり方」について意見交換をしました。ほとんどの会員は仕事をもち、地域活動や学校の役員等毎日が忙しく、一方では様々な家庭の事情を抱え生活に追われています。足を運んで

もらうためには会議だけに終わるのではなく、和やかな交流の場が必要なのではないのか。また癒されるひと時であるべきではないか。という結論に達し、初めての一泊での親睦を試みることになりました。日時は9月22日に午前中に地本家族会の総会を開催し、その夜一泊で交流し、翌日両支部の家族会総会を開催するという日程を考えています。1年に2日間だけ家族会のために予定を入れていただきますように組合員の皆様にご協力をお願い申し上げます。

和やかで癒される活動へ 今年は一泊の総会を計画

家族会会長 佐々木香代子

東北ろうきん サマーキャンペーン2012 6/1(水)~7/31(土)

期間中、以下の条件でお預入れ・ご契約いただいたお客さまへ

オリジナル「扇子&てぬぐいセット」をプレゼント!

対象取引	定期預金	5万円以上の新規お預入れまたは増額書替え
	積立型預金 (財形預金またはエース預金)	年間積立額5万円以上の新規ご契約または年間積立額3万円以上の増額のご契約

NEW	マイプラン (カードローン)	新規ご契約
	フリーローン (メンバーズ) (プレスト)	新規ご契約



ろうきん 「問合わせ先東北労働金庫
フリーダイヤル 0120-119191-62
または、お近くの労働金庫へ

※キャンペーン対象お取引1回につきブルー・ピンクのいずれかが1セットプレゼントいたします。
※それぞれ数に限りがあり、ご希望に添えない場合がありますので、ご了承ください。
※写真はイメージです。写真と実際の色が異なる場合がございます。
※キャンペーンのプレゼントはあくまでも個人のお客さまが対象となります。また、定期預金では同額書替えや5万円の増額に満たない書替えは対象となりませんので、ご了承ください。
※店頭にて各商品の説明書をご用意しています。詳しくはお近くのろうきん窓口にお問い合わせください。